



吉井川のシンボルマークです。

坂根堰だより

発行：平成26年9月9日
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
管理第2課(坂根分室)

～ダムカードの人気にのり、中国管内で初の堰カードを発行します～

ダムカードはダムや堰への理解を深めてもらうことを目的に2007年度から国土交通省や水資源機構の管理施設で配布を始めました。今では各地のダムカードを集めている方も多く、人気があります。坂根堰にもカードを求めて来られるため、中国管内で初の堰カードを発行することにしました。

ダムカードは、2014年4月現在、全国の国土交通省、水資源機構、県の補助ダム等の347施設で配布中です。

中国管内では、国土交通省、鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県のダム54施設で配布中です。

岡山県内は、2007年度から国土交通省の苦田ダムで配布を始め、昨年(2013年7月)からは、旭川(岡山市北区)、湯原(真庭市)河本、高瀬川、千屋、三室川、小阪部川(以上新見市)、八塔寺川(備前市)、津川黒木(以上津山市)、櫛井(高梁市)鳴滝、竹谷、河平(以上吉備中央町)の岡山県が管理するダム14施設でも配布を始めました。

今年の7月18日より中国地方整備局ではダムカードを収集して「中国地方ダムマニア認定書」を交付するイベントを実施しています。興味がある方は、ぜひ坂根堰にも遊びに来ていただき、カードをゲットして下さい。

このアルファベットは、堰の目的を表しています。
F:洪水調節 N:流水の正常な機能の維持(河川環境保全)
A:かんがい用水 W:水道用水 I:工業用水

(おもて)



このアルファベットは、Movable Barrageを略したもので、可動堰という意味です。

(うら)

DAM (BARRAGE)-DATA

所在地：左岸 / 岡山県備前市坂根地先
右岸 / 岡山市東区舞戸大内地先
河口から 17km360m地点

河川名：吉井川水系吉井川

型 式：可動堰

ゲート：鋼製ローラーゲート×5門
起伏ゲート付2段ローラーゲート×2門
放流孔×1門

魚道：ゲート3連(左岸)/ゲート7連(右岸)

堤高・堰頂高：4.2m・279.2m

総貯水容量：220万m³

管 理 者：国土交通省

本体竣工完成年：1973/1979年

詳しいデータはこちら⇒<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

ランダム情報

岡山平野の豊かな水産である吉井川には、さくから獲つもの堰があり、堰橋は3つの堰を統合してできたという歴史的背景があります。江戸時代 岡山藩士・清田永忠は新田開発のため、自給自足を期して、吉井川を右側の山側で築き、右岸側を築き、利便性を高めて、治水、治水、治水の観点から、老朽化した堰を統合する計画に基づき、現在の堰橋の建設が完了しました。

こだわり技術

堰橋には、高圧に耐える設計が施されています。骨には粘りやオゾンノズル、夏には「サイクリング」時には、マダニの侵入を防ぐための、堰の上で流す「サイクリング」が施されています。



うら面は、ダム・堰の形式や、諸元・こだわりの技術など、そのダム・堰の秘話が記載されています。

**中国管内で「初」の堰カードです。
2014年9月1日から配布を開始しています。**

【堰カードの入手方法】
坂根堰に遊びに来て、管理所内の職員に声をかけてね。

<配布時間>
平日・休日・祝日 8:30～17:15

坂根地区のみなさんによる河川清掃 ～平成26年7月6日(日)～

岡山県を流れる吉井川の坂根堰から下流約1km区間の河川清掃が、備前市坂根地区自治会の主催により行われました。朝8時から、子供から大人まで約40名の地域住民とともに坂根堰を管理する職員も参加し、約1時間で14袋分のゴミを集めることができました。

坂根地区自治会は、長年にわたって清掃活動を行っており、河川愛護協力者表彰されている団体です。最近では、地域の方々の協力も得て、河川敷や水辺の環境をより良くする活動にも取り組まれており、参加される地域を募っています。

今後とも、坂根堰、岡山河川事務所は地域のみなさんと連携して施設管理に努めます。



清掃状況(坂根地区自治会)

※河川愛護協力者とは、清掃・除草・植採作業等の美化活動はもとより、国土交通省が主催・共催する河川愛護月間中の行事(作文・ポスター募集等)や、水生生物調査等の学習活動への参加など、河川に慣れ親しむ活動をしておられる方々をいいます。

坂根堰の貯水域(くまやま水辺の楽校)で中学生による「水生生物調査」を実施しました ～平成26年7月28日(月)～

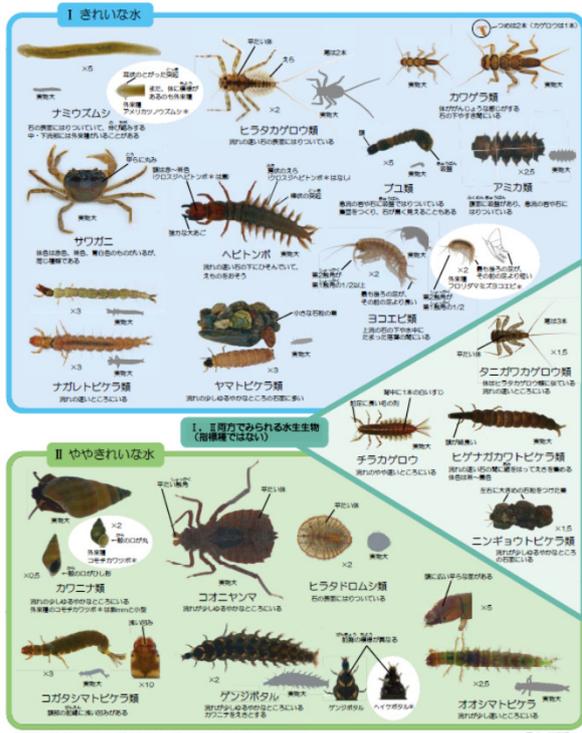
岡山河川事務所では、小学生・中学生・高校生を中心に住民参加型の水生生物調査を実施しています。水生生物調査とは、水質により生息している生物に違いがあることを利用して、川底にどのような生物が住んでいるかを調べ、その地点の比較的長い期間の水質状態を簡易的に判定する調査です。

今年、赤磐市立磐梨中学校の生徒のみなさんに参加してもらい、職員と一緒に川底に潜んでいる水生生物を調査しました。参加した生徒からは「きれいな川を守り続けたい」と感想がありました。



水質階級と指標生物

熊山地点で見つけることができた水生生物



きれいな水(I)の指標生物	
ヒラタカゲロウ類	2匹
ヨコエビ類	6匹
ヘビトンボ	2匹
ややきれいな水(II)の指標生物	
コガタシマトビケラ類	1匹
ヒラタドROMシ類	42匹
カワニナ類	65匹
きたない水(III)の指標生物	
シマイシビル	1匹
その他(指標生物ではない)	
スジエビ	15匹
ヒル	11匹
タニガワカゲロウ	9匹

※指標生物とは、生育している地域の環境条件の判定に用いられる生物種。

河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。

この熊山地点の水質状態は「ややきれいな水」という結果でした。



『次世代に 学んで引き継ぐ この地球』

詳しくは、下記アドレスを参照して下さい。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/kouhou/kisha/H26/140725suiseiseibutucyousa/140725suiseiseibutucyousa.pdf>

お知らせ & お問い合わせ先

1. 岡山河川事務所のホームページで、坂根堰に関するいろいろな情報を見ることができます。

<坂根堰ホームページの表示方法>

- ① 岡山河川事務所ホームページへアクセスする。
「<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>」
- ② 右のとおり、「坂根堰からのお知らせ」をクリックする。
- ③ 坂根堰ホームページが表示される。
直接はこちら http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/jimusho/kouhoushi_sakane/ko_dayori_menu.htm

2. 「施設の見学をしたい」「こういう事を教えてほしい」等のご意見、ご希望がありましたら、下記まで、電話、FAX、メールいずれでも構いませんので、ご連絡下さい。

岡山河川事務所 管理第2課(坂根分室)

〒705-0016 備前市坂根字土井502-3
 電話 0869-66-7631
 FAX 0869-66-7633
 メール info-okakawa@cgr.mlit.go.jp